

成に努めるとともに、牛深・河浦地域への水の安定供給のため、路木ダム建設をなお一層促進していきます。

また、平成21年10月をめぐりに、水道料金体系の統一や改定を行い、負担の公平性の確保と水道財政の健全化に取り組んでいきます。

公営住宅については、新和雇用促進住宅を購入し、市営住宅として、引き続き住宅ニーズに対応していきます。また、地震による建築物の揺れやすさを紹介する、地域地震防災マップを作成し、防災意識の普及・啓発に取り組みます。

消費生活の支援については、商品購入をめぐるトラブルや多重債務など、消費生活問題が増加しているため、消費生活センターを設置し、相談員を増員して相談業務を強化するとともに、各種啓発活動にも力を入れていきます。

人間の幸せの原点は健康にあります。健康に対する自己決定力を高め、個人の健康の保持・増進に取り組みやすい地域社会を形成していくとい

う、ヘルスプロモーションの考え方に基づき策定した「天草市健康増進計画」や「天草市食育推進計画」に基づき、保健事業を展開していきます。

平成20年度から実施しています、メタボリックシンドロームに着目した「特定健診・特定保健指導」については、受診者数の拡大に努め、生活習慣病の予防、しいては、医療費の節減につながるよう取り組んでいきます。

母子保健については、妊婦健康診査の健診費用の補助回数を5回から14回に増やし、妊娠・出産にかかる経済的負担の軽減と、母子の健康保持



▲生活習慣病の予防を目的とした健康運動教室を実施

を図っていきます。予防接種については、あらたに、乳幼児や小・中学生のインフルエンザ予防接種に補助を行い、保護者の経済的負担の軽減と重症化やまん延の防止に努めていきます。

また、新型インフルエンザの発生が世界的に危ぐされる中、平成20年度、「天草市健康危機管理対策本部」を設置し、「天草市新型インフルエンザ対策行動計画」を策定しました。今後、この行動計画

を基に対応マニュアルなどを作成し、市民の安全・安心を守るため、県や関係機関と十分に連携を図り、より効果的な対応が取れるよう、体制を整備していきます。

医療体制については、「市民が必要とする医療を提供し、市民に信頼される病院・診療所を旨とする」ことを基本理念とする「市立病院改革プラン」に基づき、病院事業の経営形態を、地方公営企業法の全部適用へ移行するための体制作りを行うとともに、医師の確保対策の強化、経営健全化のための収益の確保と経

費削減に取り組んでいきます。福祉については、「天草市地域福祉計画」や「天草市地域福祉活動計画」に基づき、市民・社会福祉協議会・行政の連携による「地域福祉ネットワーク事業」をさらに推進し、地域住民がお互いに地域で支えあう、地域における福祉活動の実践や基盤づくりを推進していきます。

障がい者福祉については、「天草市障がい者福祉計画」の見直しを行い、障がいを持つ人が地域の中で安心して暮らせるよう、更なる福祉サービスの充実に努めていきます。

高齢者福祉については、高齢者の皆さんが、健康で安心して在宅生活をしていただくため、地域見守りネットワークの構築や高齢者支援センターの活用を推進するとともに、介護予防事業や地域密着型サービスの充実を図っていきます。

また、外出の機会が少ない人を対象に、外出支援事業を

はじめ生きがいサービス事業・配食サービス事業などを推進するほか、あらたに高齢者の方みずからが、介護保険施設などでボランティア活動を行う「介護支援ボランティア制度」を創設し、地域貢献活動を通じて、自身の介護予防と生きがいづくり、社会参加を推進していきます。

- 防犯灯維持整備事業（通学路や地域住民の生活安全の確保のため、防犯灯の整備・維持管理に努める）……………4,313万円
- 共聴施設整備事業（地上デジタル放送への移行に伴い難視聴地域の解消を図るため、共同受信施設の整備を行う共聴組合に対し、整備に係る費用の一部を助成する）……3,906万円
- 緊急通報体制整備事業（一人暮らしの高齢者などの自宅と消防署を直結し、24時間体制で緊急時に対応する）…1,264万円
- 地域福祉ネットワーク事業（小地域を単位として、各関係機関・行政機関と連携を図り、地域住民による自主的な活動やネットワークづくりを推進する）……………300万円

より、学力の向上を図っていきます。また、学習指導補助教員や学校司書を増員して配置することにより、きめ細やかな指導の充実、児童・生徒の読書活動の推進をさらに図っていきます。いじめや不登校問題に対しては、いじめ・不登校対策会議を中心とした取り組みの充実を図るとともに、ス

援のためのニーズ調査を基

に、「天草市次世代育成支援行動計画 後期計画」を策定し、子どもが、心身ともに健やかに育つための環境整備を推進し、子どもたちの健全育成や子育て家庭の支援などの充実を図っていきます。

防災については、自主防災組織の育成支援や消防関係資機材の整備、防火水槽の設置を進め、地域消防力の維持に努めるとともに、地域における災害への備えの強化や災害時の避難など、自主的な行動を支援するため、市内各地域のハザードマップを作成・配布し、被害の軽減を図ってい

きます。

芸術や文化は、私たちの心を豊かにし、ゆとりと潤いを与えてくれます。「文化の薫るまちづくり」を推進する文化振興につきましては、「文化振興計画」や「全島博物館構想計画」に基づき、自主的で多様な文化活動が行われるよう環境整備を推進していきます。

また、世界遺産登録の推進については、関係機関・団体と連携を取りながら、崎津教会や大江教会、その周辺集落の重要な文化的景観選定への申し出を行い、登録の実現に向け取り組んでいきます。

4 地域を担う人づくり

地域づくりの基本は、人づくりにあると考えています。市民一人ひとりが「地域の将来を見据え、自分たちの地域はみずからがつくる」という郷土意識を持ち、主体的に地域づくり活動に取り組んでいただくことが、本市の振

興・発展につながっていきます。

「まちづくり協議会」と「地区振興会」が各地域に設立されて4年目を迎えます。各地域においては、さまざまな取り組みが行われ、住民主体の地域づくり活動が全市的に浸

透しつつあります。今後は、さらなる住民自治の組織強化を図るため、引き続き視察研修の実施や地域づくり講演会などを開催し、地域を担うリーダーの養成・確保に努めていきます。

また、地域づくり担当職員は研修の実施などにより、地域活動のサポート役としての資質向上に努め、地域づくり活動を支援していきます。

自治組織と行政とが手を携えて、地域の課題解決にあたる行政としての支援のあり方を模索しながら、これからは「市民と行政の協働による

まちづくり」を推進していきます。

男女共同参画社会の実現については、「天草市男女共同参画計画」に基づき、女性リーダーの育成や市の審議会などにおける女性委員の登用などに努めるとともに、市民・事業所などの理解をより深めるため各種啓発事業を展開し、すべての人が共に生きる社会づくりを進めていきます。

教育については、事務の管理や執行状況の点検評価を行い、教育委員会の責任体制の明確化と教育における地方分権の推進を図っていきます。

また、教育懇談会などを通して、保護者や地域住民の皆様の意向を、なお一層教育行政に反映させるよう努めていきます。

学校教育については、信頼され、開かれた学校づくりに今後とも取り組むとともに、学校訪問指導の計画的な実施や、研究指定校としての研究成果の全学校への普及などに

- 新本渡中学校建設事業（本渡中学校・佐伊津中学校・本町中学校を統廃合し、新本渡中学校を建設する）……………19億5,262万円
- スクールバス運行事業（小・中学校の統廃合により、遠距離となった児童・生徒の通学手段を確保するため運行する）……………1億1,152万円
- 体育施設等整備事業（本渡運動公園陸上競技場のトラックやフィールド内の整備改修を行う）……………9,955万円
- 地域自立コミュニティ活動支援事業（旧市町単位の行事、地区振興会が行う地域行事などの推進のため、まちづくり協議会に補助金を交付する）……………6,738万円

より、学力の向上を図っていきます。また、学習指導補助教員や学校司書を増員して配置することにより、きめ細やかな指導の充実、児童・生徒の読書活動の推進をさらに図っていきます。いじめや不登校問題に対しては、いじめ・不登校対策会議を中心とした取り組みの充実を図るとともに、ス